

令和5年度特別の教育課程の実施状況等について

1. 自己評価結果

令和5年度の児童（1～4年生）にアンケート調査を行ったところ、「英語タイムは楽しいですか」という質問に対して、「とても楽しい」「どちらかという楽しい」と回答した児童は全体の約92%でした。昨年度より2%増加した結果となりました。このことから、英語タイムや3、4年生の外国語活動への取組が児童にとって、よい学びにつながっていることを示していることが分かりました。

資料1【児童アンケートの結果】



2. 学校関係者評価結果

保護者アンケートでは、「お子様は英語タイムを楽しんでいると感じていますか」という質問に対して、「とても楽しい」「どちらかという楽しい」と回答した保護者は、全体の約92%でした。また、「お子様は、DVDの話は分かると感じていますか」という質問に対して「分かる」「なんとなく分かる」と回答した保護者は約91%でした。それぞれ昨年度と比べて4%、2%増えていることから、本校の英語活動への取組を理解していただいていることがわかります。その一方、「楽しくない」「分からない」と回答している保護者からは、「英語は楽しいけれど、DVDを見ているだけでは楽しくない。短い時間でもいいから、先生に教えてもらいたい」「同じDVDを流すことが多く飽きてしまう」などの意見もいただきました。

資料2【保護者アンケートの結果】



3. まとめ

多くの児童は、英語タイムを「とても楽しい」「どちらかというと楽しい」と感じており、学年が上がっても楽しく活動できています。保護者の方からも「英語を理解できるようになってほしい」「英語活動をもっと充実させてほしい」との思いも伝わってきます。

このことから、児童の英語に対する興味関心の高まりを、学校の英語活動や外国語の授業での学びとリンクし、日常生活の中で英語を使う場面を少しでも増やしていくことを、今後の課題としていく必要があると考えています。

そのために、英語活動や授業内容の一層の充実を図るとともに、話している内容への理解が深まるよう、英語タイムのサポートを丁寧に行っていきたいと思います。さらに、発達段階や個に応じた声かけをすることで、英語に対する関心を高め、分かる楽しさを実感させていきたいと考えています。